

たんぽぽ



北里学級だより
NO2 2013.5.28

どろだんご作ってるみたい！ たのしかった「よもぎだんご作り」

春の行事である「よもぎだんご作り」、今年は約一月遅れて実施しました。子どもたちは、だんごの材料やよもぎについての知識を学びながら、レシピを書いたり、調理器具を準備したりして、とても楽しみにしていました。

学校で行う行事は、学年に応じて、できる限り子どもたちの手でおこなうことに意義があります。よもぎだんご作りを通して、手作りの喜びや力を合わせることの大切さを学ぶことが出来、「家でも作ってみる！」という声も聞こえてくる



ほど楽しかったようです。

また、佐藤副院長先生をはじめ、よもぎだんごをお届けした皆さんからお礼のお手紙をいただいたことも子どもたちの励みになりました。

入院中でも、こんなにすてきな体験ができるのは、多くの方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。

- ぼくは、おだんごをまるめることが楽しかったです。さいころの形、しゅりけんの形などに作ったりしました。ほかにも白玉粉をこねる時のさわりごちが気もちよかったです。たいへんだったところは、白玉粉が、なかなか固まらなかったことです。だんごづくりは本当に楽しかったです。
- だんごをこねるのが楽しかったです。だんごを盛りつけるのをくふうしました。きなことさとうをまぜて、あまいかあまくないかをくふうしました。
- だんごをまるめるところが楽しかった。水をちょっとずつ入れたりして、くふうをしました。もりつけるのはむずかしかったです。あんこがなくなって、多いやつからとって入れた。きなこがあまかった。

ちょっと足を止めて

北里学級を設置している、光が丘小学校と麻溝台中学校の児童生徒の作品を3Fエレベーターホール～NICU・北里学級間の廊下に掲示させていただくことになりました。今月はじめから、まず麻溝台中学校1年生(現2年生)の作品を展示しています。



タイトルは「冬休みに食べたおいしいもの」。美術科の先生から北里学級の話聞いた生徒たちが、すすんで木版画を制作し、2枚印刷したうちの1枚を提供してくれたものです。

どの作品にも個性があって、心を込めて制作したことがとてもよくわかります。展示してある廊下は、北里学級に通う子どもたちの通学路になっているばかりでなく、NICUに入院中の赤ちゃんのご家族や、ベンチで休む方など多くの方が足を止めて見てくださっています。

この後、光が丘小学校の児童の作品も掲示する予定です。掲示活動を通して、北里学級を設置している学校の児童生徒たちとの交流が生まれればいいな、と願っています。

学習予定

小学部…国語、算数、個別指導

教科書、学校で使っているドリルなどがありましたら持ってきてください。

中学部…多くの中学校では「中間テスト」の時期なので、北里学級でもテスト対策の学習に取り組みます。入院中で受験できない場合には、北里学級の教室で中間テストを受けることもできます。入院により、学校を離れてしまう不安を少しでも軽くしていきましょう。

北里学級は、
光が丘小学校と麻溝台中学校の教室(院内学級)です。
北里大学病院に入院中の小中学生は、
担当の先生の許可があれば
誰でも学習に参加することができます。